

2024 年度 第 1 回 教育課程連携協議会 議事要旨

- 開催日時：2024 年 9 月 26 日（木）15 時 00 分～15 時 55 分
- 場 所：オンラインビデオ会議システムによる
- 出席者：千住学部長、山本学長特別補佐、山内理学療法学科長、辛島作業療法学科長
種村言語聴覚療法学科長
滋賀県医師会 高橋会長、滋賀県理学療法士会 平岩会長（委任）
滋賀県作業療法士会 木岡会長、滋賀県言語聴覚士会 佐敷会長
東近江市地域包括支援センター 河島センター長
マキノ病院リハビリテーション科 杉原課長
市立長浜病院リハビリテーション技術科 西村主幹
滋賀県立リハビリテーションセンター 乙川主任主査
- 陪席者：角野学長、北川事務局長、落合センター長、岩崎センター長代理
丸山学生支援グループ長、岡田入試広報グループ長
- 欠 席：

議事に先立って、角野学長より挨拶が行われた。

1. 議 事

（1）教育課程連携協議会新規構成員の紹介

2024 年度より新たに就任した本会構成員の紹介および挨拶が行われた。

◇新規構成員

滋賀県医師会 会長 高橋 健太郎 様
滋賀県言語聴覚療法士会 会長 佐敷 俊成 様
言語聴覚療法学科 学科長 種村 純
リハビリテーション学部 学部長 千住 秀明（議長）

（2）報告事項

① 2024 年度 教育活動実施状況 報告

各学科長より資料①に基づき前期の教育活動実施状況について報告が行われた。

(高橋会長より)

作業療法学科について1期生の卒業者数が入学から約半数に減っていることが気になった。退学者を減らすために講じている対策などを教えていただきたい。

(辛島作業療法学科長より)

1期生については、大学設置認可申請の兼ね合いもあり、学生募集開始時期が遅くなり、入学志願者も少なかったため、基礎学力が低い学生が多かった。そのため、本学に入学してからも授業内容についていけず、途中でドロップアウトしてしまう学生がいた。

また、発達障害を抱える学生も在籍していた。

そういった基礎学力の低い学生や作業療法士という職種にモチベーションが保てない学生をフォローするため、各学年担任制を敷いており、毎週1回のホームルームや諸問題のある学生については個別面談や保護者との3者面談を実施し、フォローアップを図っている。

また、発達障害やさまざまな要因で学習に障害のある学生については、本人の意向も汲み取り、合理的配慮を講じている。

なお、自主退学した学生の中にはしっかりと自身の将来を見定めて進路変更する学生もあり、もちろん退学せずに卒業することが本学としては最良ではあるが、そういった学生については退学に悲観的な意識は持っていない。

② カリキュラムの改正について (2025 年度より)

丸山学生支援グループ長より資料②に基づき今年度改正された言語聴覚療法士学校指定規則改正に合わせ、次年度、言語聴覚療法学科の教育課程変更について、概要の説明が行われた。

また、理学療法学科及び作業療法学科についても一部、展開科目(選択科目)について科目の追加をすることがあわせて報告された。

③ 2024 年度 地域連携事業について

岩崎センター長代理より資料③に基づき今年度の地域連携事業実施状況について概要の説明が行われた。

④ 学生募集の状況について

岡田入試広報グループ長より資料④に基づき今年度の学生募集状況について概要の説明が行われた。

(3) その他

特になし

以上